

青山一丁目 → 外苑前 → 表参道

# PAMAP

## <調査目的・予想>

～車種とその周辺の関係～

パーキングに止まっている車(おもに値段)とその周りの商業施設に関連性があるのか、また、パーキングの値段との関連性があるのかを調べる。今回は高級車がよく見られるということで範囲を青山一丁目から表参道までを選定。高級店に近くあればなるほど高級車が多々駐車しているのではなか、また駐車料金が高いほど高級車が多いのではなかと予想。

## <考察>

ジャンル、車の種類、周辺の環境、駐車料金、形態から今回の調査対象エリアを1kmの幅に絞りこむ結果が得られた。予想通り、高い商店街やビルに近くには高級車が停まっていることが多く、一方公園近くなどには軽自動車が多々駐車しているという結果が得られた。やはり高級志向や裕福な人々に車も良いものを持ちたいであろう。また、イチョウ並木エリアの事例から、月々の提携を計り、お互いの利益になるようなビジネスをしていることが分かった。

- 17N2047 高柳 蓮
- 17N2037 渋谷 祐貴
- 17N2048 田中 逸晟
- 17N2068 原田 真夫

## <まとめ>

予想通りの車種と周辺地域の関連性を思い出したと共に、より深いエリアでの駐車場の商業の関連性、個々のパーキングエリア選定の重要点、エリアのパーキングを見つめること、イチョウ並木で見つめることのできた。

## イチョウ並木エリア

イチョウ並木は観光地エリア。多くの人が行き交い、そこに巨大なパーキングビルが存在していた。車で来るということでこの近隣地域の人が多く、青山、神宮の近くという立地から高級車も多く目についた。



ベニツ



自立した外車高級車  
ポルシェ 2000万、カイロ 1500万

「予約のパーキングを利用した」というイチョウ並木に対し、観光地におとされる同時、この地域の商業施設で買い物をするに駐車料金が無料にあるからと述べた。こうした事例が提携して行うには広告費などの広めるコストがかかるであろう。

## 青山公園エリア



この日現金不可の駐車場の現金を廃止するに際しての会社の管理がスムーズにあるためである。AIが導入された中、これからどういった現金不可が増えるのではなかと予想。

大きな公園や基地に近くにあることから関連するが、軽自動車や家族の車が目立つ。トヨタ、本田、プリウス

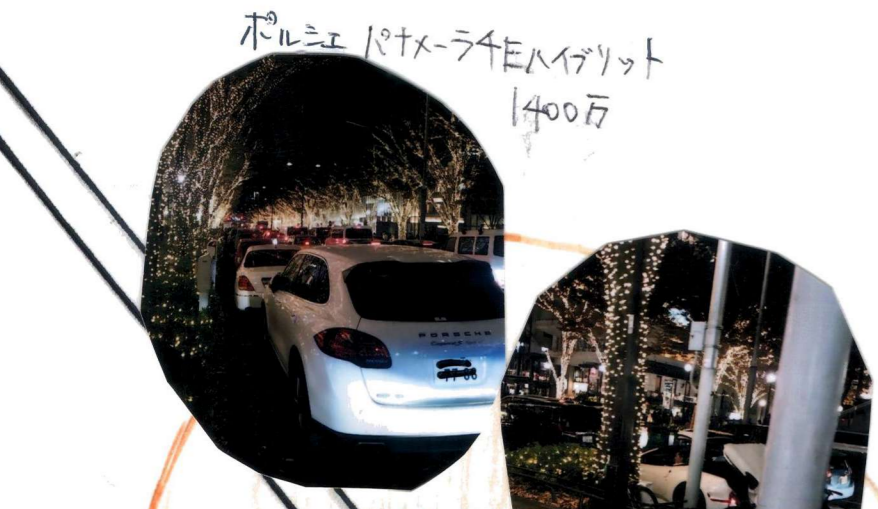


### よく見られた高級車

- アウディ 600~800万
- ベニツ 600~800万
- レクサス 500~800万
- クラウン 460~600万
- ポルシェ 1000~1500万
- BMW 380~500万

## オフィス街エリア

オフィス街に当たる区域。会社の近くに駐車場がある。そこに車で通勤している。しかも青山というエリア柄も、外車や高級車が過半数を占めるほどに見られた。パーキングを専用として買い取っている人もあり、駐車場の民営化が促進されていると予想できるであろう。



ポルシェ パナセア ハイブリッド 1400万

## 表参道エリア

ブランド店がずらりと並ぶこのエリア。主に①に示す路駐型のパーキングの形態をとっており、左記写真のようには高級車が次々に駐車していった。



広い道だからと通行を確保して、この路駐型のパーキングを導入した。都心ならではのパーキング形態である。



パーキングメーターに駐車



民家の前に1000坪ほどの広さがあるパーキング。この家と提携してこの家が提供しているのだろうか？



パーキングメーターに駐車



駐車料金20円/500円とこの区域の中でも高い値段設定



このエリアは車関連が多いため、白の車が軽トラックが目立つ。会社から出るために駐車料金は気にしないという声も